

医療圏別具体的対応方針等検討状況整理票

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5								
				R3.7.1	R7.7.1		地域 医療 支援	救急 医療 施設	在宅 療養 支援	在宅 療養 後方 支援	終 末期 医療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床 数(2025)	変更 あり	変更 なし	検討中	具体的な変更内容等		
1	周南	下松中央病院	一般療養 99 28 71	回復慢性 99 28 71	回復慢性 99 28 71	地ケア 41 41							○		・4機能のうち慢性期が中心。 ・R4.4.1、同一法人が運営する鹿野博愛病院から慢性期病床38床を移管することについて、R3.12.9の調整会議において合意済。	・地域における慢性期機能も必要であるため、慢性期機能を維持しつつ、不足している回復期への転換を図る。 ・鹿野博愛病院から移管した慢性期38床のうち、18床を令和6年の病院建替に併せて回復期へ転換する。	137 回復 46 慢性 91				
2	周南	下松病院	療養 51 51	慢性 51 51	慢性 51 51										・慢性期機能を担う。	・当院は1病棟のみの小病院であるので、当院のみで複数の機能を持った病院として運営することは不可能である。 ・慢性期病床のみとなる。	51 慢性 51				
3	周南	周南記念病院	一般療養 250 200 50	急性回復 250 150 100	急性回復 250 150 100	回リハ 100 地ケア 50									・3機能のうち、二次救急医療などの急性期機能を担いながら充実したリハビリテーション施設を活かし、患者の在宅復帰に向けた回復期機能まで取り組んでいる。	・周南地域の二次救急医療機関ならびに下松市の中核病院として、救急患者の受け入れを積極的に行っていく。なお、地域の高度急性期については、周南地域の基幹病院である徳山中央病院にお願いし、回復期については徳山中央病院からの受け入れを積極的にするなど、機能に応じた病院間の連携を図る。 ・併設する介護老人保健施設、訪問看護ステーション等と連携し、地域包括ケアシステム構築の要である在宅医療の推進に努める。 ・現在の急性期(150床)、回復期(100床)を維持する方針である。 ・訪問医療を実施している医療機関を支援し、在宅患者・施設入所者の急病時に地域包括ケア病床をバックベッドとして利用して貰う。	250 急性 150 回復 100				
4	周南	光市立大和総合病院	一般療養 243 40 203	急性回復慢性 243 40 44 159	急性回復慢性 243 40 44 159	回リハ 44 44									・「光市立病院再編計画」に基づき、がん、脳卒中、生活習慣病等に対応する医療機能の充実や、リハビリや長期療養などの医療機能の整備、充実していくため、光市の2つの公立病院を1つの病院として捉え、2病院の医療機能を分化した。 ・大和総合病院は主として療養病床を中心とした慢性期医療、リハビリ、外来医療を担う病院とし、機能分化に必要な施設改修や人員配置を行った。	・周南保健医療圏は高齢の入院患者が増加が見込まれていることから、引き続き主として療養病床を中心とした慢性期医療に取り組む。 ・入院医療(療養病床を中心とした慢性期医療、回復期医療)、外来医療(一般外来医療)、在宅医療(訪問看護、訪問リハビリ)、救急医療(一次救急医療)、その他(リハビリ医療、健診)。	243 急性 40 回復 44 慢性 159				
5	周南	光中央病院	一般療養 98 40 58	急性慢性 98 40 58	急性慢性 98 40 58	地ケア 40 40									・急性期機能、回復期機能、慢性期機能を担う。 ・人間ドック健診センターの設置運営	・基本理念は地域医療への貢献であることから、休日、夜間の1次・2次救急について、少しでも守備範囲を拡げられよう努める。 ・在宅医療の充実のため、地域包括ケア機能の一翼を担う。 ・人間ドックの受診者を増やし、悪性腫瘍や生活習慣病の早期発見に努める。	98 急性 20 回復 20 慢性 58				
6	周南	光市立光総合病院	一般 210 210	急性回復 210 143 67	急性回復 210 143 67	地ケア 47 47									・「光市立病院再編計画」に基づき、がん、脳卒中、生活習慣病等に対応する医療機能の充実や、リハビリや長期療養などの医療機能の整備、充実していくため、光市の2つの公立病院を1つの病院として捉え、2病院の医療機能を分化した。 ・光総合病院は主としてDPCを中心とした急性期医療、外来医療及び人工透析医療を担う病院とし、機能分化に必要な施設改修や人員配置を行った。	・周南保健医療圏における東部の一般急性期病院としての機能を担う。また、本圏域は回復期の病床が極端に少ないことから、これまで通り急性期及び回復期病床を確保する。 ・入院医療(DPCを中心とした急性期医療、回復期医療、終末期医療)、外来医療(一般外来医療)、在宅医療支援(民間診療所の後方支援)、救急医療(二次救急医療)、その他(へき地医療拠点病院、人工透析医療、がん治療の充実)。	210 急性 163 回復 47				
7	周南	みちがみ病院	一般 30 30	急性 30 30	急性 30 30										・ほぼ産科。	・地域の周産期医療。 ・思春期から更年期、老年期までの婦人科医療。	30 急性 30				
8	周南	梅田病院	一般 34 34	急性 34 34	急性 34 34										・産婦人科(主に産科)と小児科に特化した病院。	・山口県東部の妊娠管理、分娩(主に正常妊娠、分娩を中心に)を取り扱う。 ・山口県東部の婦人科疾患及び小児科医療の一次診療機関として役割を果たしていく。	34 急性 34				
9	周南	周南高原病院	療養 115 115	慢性 115 115	慢性 115 115										・慢性期機能を担う。	・法人として、周南市北部地区の医療・福祉・介護を提供する。 ・急性期、回復期を経過した患者の受入れ。特に介護病床は周南地区に当院しかない。介護度が高いが、医療的にはあまり治療の必要がない患者を受入れない状況が続いている。	115 慢性 115				
10	周南	徳山リハビリテーション病院	療養 120 120	回復 120 120	回復 120 120	回リハ 120 120									・回復期機能を担う。	・現体制を維持して、今後も地域における回復期機能の一翼を担う。 ・市町との連携強化により、地域住民との連携を図ると同時に二次医療圏の地域基幹病院はもとより、医院・クリニック等との連携強化を図る。	120 回復 120				
11	周南	徳山病院	一般 78 78	回復 78 78	回復 78 78	地ケア 78 78									・地域包括ケアを主軸とした病院。	・地域に根差した病院として、急性期からの受入だけでなく、クリニックや施設からの受入を強化していく。 ・元の場所に元気になって戻る。	78 回復 78				
12	周南	黒川病院	一般 50 50	急性 50 50	急性 50 50										・急性期機能を担う。	・高度医療と外来医療の中間を担い、外来から手術まで脳神経領域をカバーする。	50 急性 50				
13	周南	周南病院	療養 56 56	回復慢性 56 20 36	回復慢性 56 28 28	地ケア 20 20									・回復期機能と慢性期機能を担う。	・周南病院で展開している在宅医療(訪問診療、訪問看護)を基軸にした施設等との連携を強化し、利用者の重症化を防ぐこと、急変時の自病院への入院受入のしきみを作ることで地域における当院としての役割を発揮する。	56 回復 36 慢性 20				
14	周南	周南リハビリテーション病院	一般療養 210 86 124	回復慢性 210 40 170	回復慢性 210 40 170	回リハ 40 40									・回復期機能と慢性期機能を担う。	・地域におけるリハビリを中心とした回復期機能の一翼を担う。 ・市町との連携強化により、地域住民への介護予防活動の積極展開により、地域との連携を図っていく。また、地域基幹病院との連携はもとより、クリニック等との連携も強化していく。	210 回復 44 慢性 166				

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数 (精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	病床機能報告による 機能別病床数 ※1		施設基準の 状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋((プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5								
				R3.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療		病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等		
27	周南	医療法人社団光仁会市川医院	一般療養 19 18	回復 19	回復 7						○	○	・回復期機能を担う。	・地域における回復期機能の一翼を担う。	回復 7 7						
28	周南	医療法人やよい河村循環器神経内科	療養 4 4	慢性 4	慢性 1								○	○	・慢性期機能を担う。	・より地域に密着した医療を目指す。	慢性 1 1				
29	周南	徳本歯科医院	一般 2 2	休棟 2	廃止 0										・急性期機能を担う。	・歯科診療所として外来診療を重点的に行う。 ・当面は、急性期の患者を、短期間、緊急避難的に受け入れる程度の病床機能を維持するが、2025年までに病棟を閉鎖する方向で検討中である。	廃止 0 0				
30	周南	竹内医院	一般 15 15	回復 15	回復 15									○	・回復期機能を担う。	・外来診療と在宅診療の二本立の体制を維持する。 ・医療の末端部分を担当し、患者に一番近い存在であること。	回復 15 15				
31	周南	津永産婦人科	一般 9 9	急性 9	急性 9										・周南市において分娩を取り扱う有床診療所の一つで、婦人科疾患もオープンシステム徳山医師会病院を利用し、年間約40件近くの手術実績がある。	・分娩を取扱う施設が減少してきており、地域における周産期医療の一翼を担う体制を維持していく。 ・少子高齢化・晩婚化などに伴う医療需要の変化に対応する。	急性 9 9				
32	周南	医療法人広田眼科	一般 17 17	急性 17	急性 17										・急性期機能を担う。	・白内障、緑内障、網膜剥離、糖尿病網膜症など、急性期医療の提供体制の確保。	急性 17 17				
33	周南	医療法人 宇野医院本院	一般 19 19	回復 19	回復 19										・4機能のうち回復期か中心。	・高齢者の独居が多い地域の為、急性期後の回復、自立の為に当院の役割を再検討。又、二次病院では対応しきれない慢性期患者の対応も検討する必要がある。	回復 19 19				
診療所小計			一般療養 164 126 38	高度急性回復慢性休棟 164 0 82 53 20 9	高度急性回復慢性休棟 147 0 82 41 17 7		0	0	4	0	4						高度急性回復慢性 140 0 82 41 17	0	0	0	
医療圏合計			一般療養 3,182 1,961 1,221	高度急性回復慢性休棟 3,182 463 900 695 1,115 9	高度急性回復慢性休棟 3,067 463 876 691 1,030 7	675 回リハ 304 地ケア 371	2	5	8	1	4						高度急性回復慢性 3,122 463 900 721 1,038	0	0	0	

※1:令和3年度病床機能報告における病床数。

※2:中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿(届出項目別)」において、【地ケア:地域包括ケア病棟入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回リハ:回復期リハビリテーション病棟入院料】を届け出ている病床数。

※3:【地域医療支援:地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設:二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」】、【在宅医療支援:在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、【在宅医療後方支援:在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、【終末期医療:令和3年度病床機能報告における「有床診療所の病床の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】

※4:「機能別病床数(2025)」については、令和4年12月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。

※5:「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」を行った結果、具体的対応方針(2025プラン等)について、①変更を行う場合、「変更あり」に○を付し、具体的な変更内容等を記載する。

②変更が必要ない場合、「変更なし」に○を付し、変更しない理由等を記載する。③検討中の場合、「検討中」に○を付し、可能な範囲で具体的な検討内容を記載する。